

この冬は感染症対策を万全に！

毎年、冬に流行するインフルエンザ。今年は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されています。感染症が流行する状況下での過ごし方について確認してみましょう。

◆「新型コロナウイルス感染症」と「インフルエンザ」の違いは？

	新型コロナウイルス感染症	インフルエンザ
感染経路	飛沫・接触感染	飛沫・接触感染
症状	発熱や咳、喉の痛みに加えて、 味覚障害・嗅覚障害など	高熱、関節痛、頭痛、悪寒・倦怠感、 喉の痛み、せき、鼻水など
無症状感染	無症状患者でもウイルス量が多く 感染力は強い	無症状患者ではウイルス量は少ない
ワクチン	令和2年11月現在、開発中	使用可能だが季節ごとに有効性は異なる

※症状が似ているため、臨床症状のみで識別することは困難です。

～新型コロナウイルスの感染リスクが高まる5つの場面とリスクを下げるための工夫～

(新型コロナウイルス感染症対策分科会より)

◆年末は飲食をともなう場面に要注意！感染リスクの高まる「5つの場面」

① 飲食をともなう懇親会



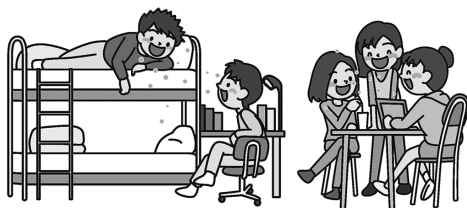
② 大人数や長時間に及ぶ飲食



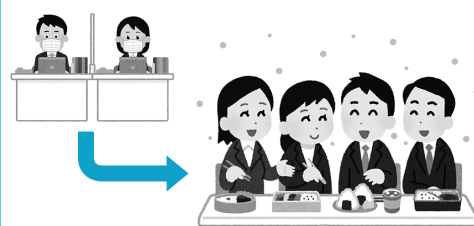
③ マスクなしでの会話



④ 狭い空間での共同生活



⑤ 居場所の切り替わり



◆感染リスクを下げながら会食をする工夫

< 利用者 >

- ① 飲酒をするのであれば、
 - ・ 少人数、短時間で
 - ・ なるべく普段一緒にいる人と
 - ・ 深酒、はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ② 箸やコップは使い回さず、一人ひとりで。
- ③ 座席の配置は斜め向かいに。
- ④ 会話する時はなるべくマスク着用。
- ⑤ ガイドラインを遵守したお店で。

< お店 >

ガイドラインの遵守。

- 〔例：〇従業員の体調管理やマスク着用
〇席ごとのアクリル板の効果的な設置
〇換気と組み合わせた適切な扇風機の利用など〕

感染症対策の基本は、手洗い・うがい・マスク着用・3密回避(密閉・密室・密接)です。

問合せ 健康保険課 健康増進グループ(常北保健福祉センター内) ☎029-240-6550